

# 令和2年度 社会福祉法人正廉会 事業計画

## 法人の基本理念

和み  
創意工夫  
個人の尊厳  
ありがとうの心

- 個人の尊厳を守り、和みのある温かな施設運営をします。  
入居者・利用者の人としての尊厳を保つと共に、健康で和やかな生活を支援することにより、入居者・利用者本位の良質な高齢者介護サービスを提供します。
- 入居者・利用者が生活の場として快適に過ごせるよう、全職員が創意工夫します。  
入居者・利用者が生活の場として快適に過ごせるよう、入居者・利用者の心身状態等の特性に合わせた質の高い介護、支援サービスの提供を心掛け、入居者・利用者が和やかな気分を感じることができるよう創意工夫します。
- いつでも・どこでも・だれにでも「ありがとうの心」で、笑顔を絶やさないようにします。  
明るく家庭的な雰囲気大切に、常にだれに対しても、挨拶と笑顔とありがとうの言葉があふれている「安全、安心、思いやり、温かみ」のある施設とします。
- ◎ 令和2年度は「和み」への取組を強化した事業運営を行います。  
和むことにより笑顔があふれ、入居者・利用者どうし、入居者・利用者と職員、職員間のコミュニケーションが良好で、人と人とのふれ合いが豊かな、穏やかで優しい施設とします。

## 法人の事業方針

経営改善計画書に掲げた経営計画に沿って引続き経営課題の改善に向けて、「特養施設並びに各事業所の稼働率のアップ」「職員配置の効率化による人件費増の抑制」「事業・事務経費の抑制」を実現していくため、事業運営に全力で取組み、事業推進面での活性化、財務面での健全化を図っていく所存です。

海山荘の建物及び設備等は平成17年の開設から15年が経過し、補修・更新の時期が既に到来している。補修・買換費用が膨大になると見込まれるものの、それらに対応する資金は限られているため、入居者・利用者へのサービス並びに施設運営に支障が生じないよう優先順位を決めて補修・更新を行っていく。

#### 4. 加算の取得増により事業収入増を

別紙：「令和2年度の加算項目」により、加算項目を再度チェックして取得可能な項目は積極的に取得するよう多職種が連携して取得に向け協働していく。

## 事業所別 事業計画書

### 介護老人福祉施設（海山荘、すいせんの郷）

#### 1. 重点目標

(1) 法人の基本理念の中で、「和み」への取組を主とした施設運営を行う。

- 入居者、家族をはじめ、施設に係る皆様に対して、気遣い・心遣い・感謝の気持ちを忘れず、いつも笑顔で和みがあり親しみのある応対をする。
- 入居者の立場に立った良質な介護サービスの提供を心がけ、「安全、安心、思いやり、温かみ」のある施設を目指し、職員間の「ハウレンソウ」（報告・連絡・相談）を徹底し、各職種の連携を深めて協力し合える関係の維持に努めてチームケアを確立し、入居者が安全・安楽に生活できるよう努める。
- ユニットケアを推進し、入居者が海山荘並びにすいせんの郷において「自分らしい生活」が実現できるよう、入居者一人ひとりの人権と生活を尊重し、入居者の心身状態等の特性に合わせた介護、支援を提供して、入居者が満足を感じることができる施設とする。
- ケアプラン（施設サービス計画）に基づいた介護サービスを提供し、入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護、援助、相談、機能訓練、健康管理を行う。
- 継続的に地域の区会やボランティア、介護等体験学生等を受け入れ、地区防災訓練や祭り行事、地域支え合い活動等への協力を進め、施設の情報等を発信することで開かれた施設を目指し、地域住民との交流の促進を図る。

(2) 居室の空室期間を短くする。（稼働率のアップ）

① 入所待機者との情報交換、連絡を密に行う。

退所から新規入所までの空室期間を短縮するため、待機期間中には施設から待機者に定期的に施設の受入れ体制や待機者の生活状況等の情報交換を行って、待機者がスムーズに入居できる状況を作り出す工夫を施す。

② 病院等への入院期間を短くする。

病院等へ入院した入居者が出来るだけ早く退院して戻れるよう、介護職員、看護職員が協力して施設の受入れ体制を整える。

## デイサービス（通所介護、認知症対応型通所介護、総合事業）

### 1. 重点目標

- (1) 利用定員 50 名（一般型 30 名、認知症型 12 名、総合事業 8 名）のデイサービスの利用率は、それぞれ 76.0 %・82.5 %・63.0 %（1 日当りの利用者数を 40 名以上）を目標とし、収益向上・経営改善に向けて、さらに事業運営を強化する。
- (2) 明るく和やかなデイサービスとして、利用者によるおやつ作りやレク活動、職員の演芸等、利用者が心身ともに楽しく過ごせるよう工夫し、利用者一人一人に寄り添う介護を行う。
- (3) 利用者及び家族のニーズを的確に把握し、利用者が穏やかに安心して日常生活を営むことができるよう支援するとともに、ご家族の介護負担の軽減に寄与できる事業者を目指す。
- (4) 認知症ケアの勉強会や研修に積極的に参加して、職員の介護技術や資質向上に努め、利用者・家族・地域から信頼され、安定した介護サービスを提供できるデイサービスとなり、利用者の確保・増加を図っていく。
- (5) 新規利用者を確保することを目標に、デイサービスの PR 情報をホームページや広報誌等で発信すると同時に、地域交流活動にも積極的に参加・企画して実行する。
- (6) 6 ヶ月に一回運営推進会議を開催し、牧之原市、地域住民、家族等の代表の参加にて、事業所の活動内容の報告、助言、要望等を頂いて、サービスの質の確保と地域に開かれたサービス提供に努める。（認知症対応型通所介護）

## 訪問介護（ホームヘルプサービス）

### 1. 重点目標

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の実施を含め、利用者へ継続的な介護サービスの提供・支援を行い、利用者のニーズに応え、信頼関係の構築を大切にして需要を喚起し、新規の利用者を増やして事業収入の増加を図る。
- (2) 利用者・家族ならびに居宅介護支援事業所との信頼関係を大切にし、事業所内勉強会や外部研修等により、職員の知識・技能と資質の向上を図り、誠実かつ質の高い介護サービスの提供を行う。
- (3) 利用者が安心して在宅生活を継続できるよう、関連機関との連携を図りながら地域に密着したサービスの提供を心がける。